

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	画像臨床重要課題3	Stage I・II 乳癌の術前にCT,PET,PET-CTによる全身検索は推奨されるか？
P	Stage I・II 乳癌の術前の日本人女性	
I	CT,PET,PETCTなどの全身検索を施行する	
C	全身検索を施行しない(局所病期診断のみ)	
臨床的文脈		Stage I・II 乳癌の術前にCT,PET,PET-CTによる全身検索を行っても、転移の見つかる頻度は低いと考えられている。実際には検査が行われるケースもあることから、益のアウトカムと害のアウトカムを含めて、検査を推奨するべきかどうかの検討を行った。

O1	全生存期間の改善
非直接性のまとめ	N.A.
バイアスリスクのまとめ	N.A.
非一貫性その他のまとめ	N.A.
コメント	該当する研究報告は認められなかった。

O2	遠隔転移巣の検出
非直接性のまとめ	I,II期だけをみた研究のみではない点がマイナスとなる。欧米からの報告のみだが、この点は特に問題ないと思われる。
バイアスリスクのまとめ	特に問題ないと思われる。
非一貫性その他のまとめ	特に問題ないと思われる。
コメント	Stageごとに検出率が異なり、若年者やサブタイプでも異なるという報告があった。CTについては胸だけや、胸・腹・骨盤を別々にスキャンした報告があったが、症例数も少なく、古い装置で現状と異なるため除外した。近年のMDCTなどを用いた報告はなかった。

O3	被曝の増加
非直接性のまとめ	N.A.
バイアスリスクのまとめ	N.A.
非一貫性その他のまとめ	N.A.
コメント	乳癌の術前検査としては、該当する研究結果は見つからなかった。

O4	偶発性病変の検出
非直接性のまとめ	I,II期だけをみた研究ではない点がマイナスとなる。欧米からの報告のみだが、この点は特に問題ないと思われる。
バイアスリスクのまとめ	特に問題ないと思われる。
非一貫性その他のまとめ	特に問題ないと思われる。
コメント	他部位の原発性悪性腫瘍についての報告があった。